一般国道
6号

勿来（なこそ）バイパス事業

令和4年
6月版

国土交通省

～ 勿 来 バ イ パ ス 工 事 の 進 み 具 合 を お 知 ら せ し ま す ～

■ 期待される主な効果

▶防災機能の強化

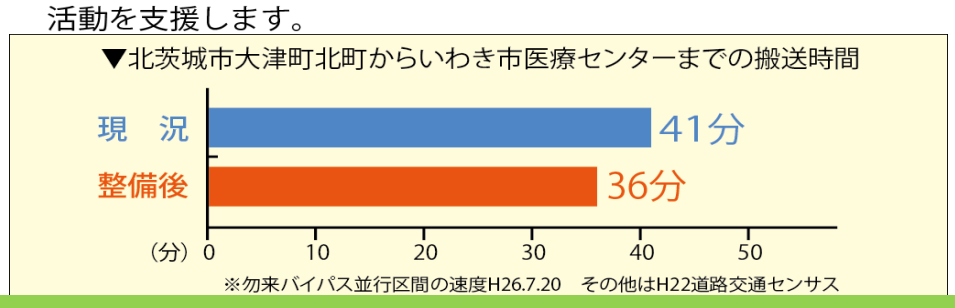
●津波浸水区間を回避し、災害時の避難・救援活動を支援するネットワークを確保します。

▶渋滞緩和・アクセス改善による観光地の再生

● 国道6号の交通量が分散し、渋滞が緩和されることで、魅力ある観光地の再生を支援します。

▶救急医療活動の支援

●医療施設への搬送時間が短縮するなど、地域住民の命を守る救急医療活動を支援します。



■ 工 事 の 進 捗 状 況

令和４年６月末現在

■ ６ 月 の 工 事 状 況

①関田関山地区　伐採工

⇒工事範囲の木を伐採しています。

②トンネル内部　掘削工

⇒トンネルを掘り進めています。現在１６５m。

③関田滝沢地区　補強土壁工

⇒盛土を抑える補強土壁を作っています。

④関田滝沢地区　路体盛土工

⇒地盤に土を盛り締め固めしています。

⑤四沢長塚地区　仮設工（工事用道路）

⇒橋の基礎を作るための工事用道路を施工しています。

⑥四沢渋町～柴橋地区

⇒７月から施工開始予定です。

（発行者）　国土交通省　東北地方整備局　磐城国道事務所
〒970-8026　福島県いわき市平字五色町8-1
TEL:0246-23-2211(代表)

令和４年6月発行

磐城国道事務所ホームページはこちら

一般国道6号

勿来（なこそ）バイパス（勿来トンネル工事）6月版

国土交通省

～ トンネル工事の進み具合をお知らせします ～

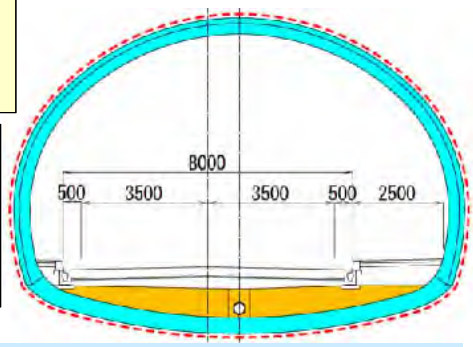
■ 位置図

■ 勿来トンネルについて

◆トンネル概要
延長：L＝７７９m
断面：約６８m2（掘削：約７８m2）
幅員：１０．５m（0.5+3.5+3.5+0.5+2.5）

▼主な土質
地形区分：丘陵地
岩石名：砂岩・シルト岩・シルト岩砂岩互層・れき岩
地質時代：新生代新第三紀中新世
区分：堆積岩
（参考：土の細かさ⇒れき＞砂＞シルト（泥））

標準断面図

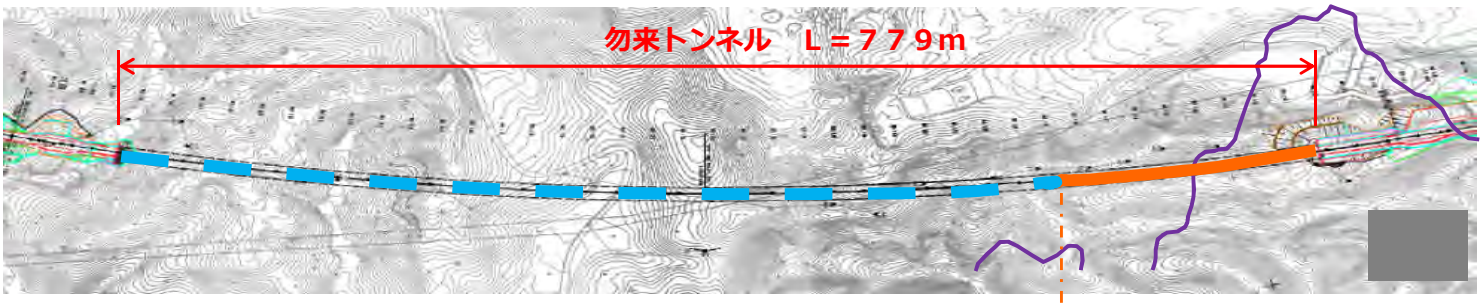


■ 工事の進捗状況

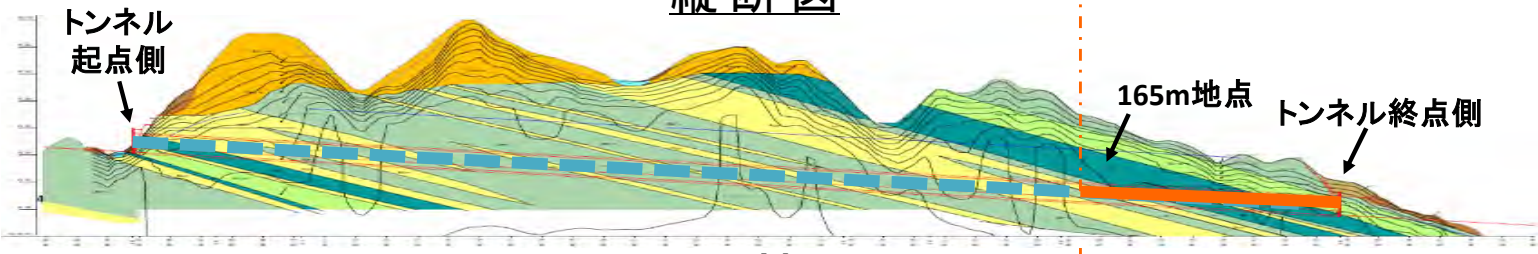
令和４年６月末現在

平面図

←至 水戸　　至 仙台→



縦断図



掘削状況

（令和４年６月24日時点）

←至 水戸　　至 仙台→

全長：７７９m

■６月トンネル掘削進捗状況

①トンネル掘削
写真はトンネル入口から165m付近を掘削している状況です。現在の箇所では風化岩である未固結砂岩層が続いています。

②箱抜（はこぬき）
消火設備や非常用設備などがこの中に収まります。そのためにコンクリートを打設する際にあらかじめスペースを確保しています。

NATM機械掘削における順序

①掘削・ずり搬出
岩盤を砕いて、砕いた岩を坑外に出します

↓

②吹き付けコンクリート・支保工
崩れないようにコンクリートを吹き付けて固め、鋼製の支保工（トンネル内部を支える枠）を組み立て、さらにコンクリートを吹き付けます。

↓

③ロックボルト
鋼材の棒をトンネル内部から外へ向け挿入して地山を補強し、地山と一体化させます。

昼夜繰り返します

（発行者）　国土交通省　東北地方整備局　磐城国道事務所
〒970-8026　福島県いわき市平字五色町8-1
TEL:0246-23-2211(代表)

令和４年６月発行

←磐城国道事務所ホームページはこちら